

乳児期からの症状と治療中断後の再燃・白内障を経て治療を継続した青年期アトピーの経過 (17 歳 男児)

症例 ID：001-17-OD | 記録日：2016 年 9 月 30 日

1. 診断・治療前経過

生後間もない頃からかゆみがあり、ステロイド外用を続けました。複数の皮膚科を受診しましたが、症状は十分に改善しませんでした。小学 5 年生になる前に松本医院を受診し、約 2 年間で症状が軽減したため通院を中断しました。

2. ステロイド使用歴

項目	内容
使用内容	乳児期からステロイド外用薬を使用しました。
製品名	不明です。
強度	不明です。
使用期間	乳児期から小学高学年頃まで使用歴があります。
中止時期	小学 5 年生頃の治療開始時です。
来院前／後	来院前に長期使用歴があります。来院後は使用していません。

3. 治療開始後の経過（リバウンドを含む）

時期	治療開始から	経過
乳児期～学童期	慢性経過	全身のかゆみが続き、外用薬を使用しました。
小学 5 年生前	初回治療	松本医院で治療を開始しました。
約 2 年間	症状軽減	症状が軽減し、通院を中断しました。
中学 3 年	再燃	皮膚症状が急速に再燃し、再受診しました。
中学 3 年 1 月	合併症	アレルギー性白内障を発症しました。
17 歳時	経過中	強い時期より軽減しました。

4. ピーク時期

ピークは、中学 3 年で皮膚症状が再燃し、強いリバウンドとアレルギー性白内障が重なった時期です。

5. 困りごと

- ・長期のかゆみと外見上の変化がありました。
- ・一度軽減した後に再燃し、治療を再開する必要がありました。
- ・白内障を発症し、皮膚症状以外の負担も加わりました。

6. 経過のまとめ

再受診後は強い時期と比べて皮膚症状が軽減しました。症状には波がありましたが、通院経過の中で、日常生活への負担が少しずつ減っていく変化がみられた症例です。

本ページは、患者さんの経過を時系列で整理したものです。
症状や経過には個人差があり、同様の経過や結果を保証するものではありません。